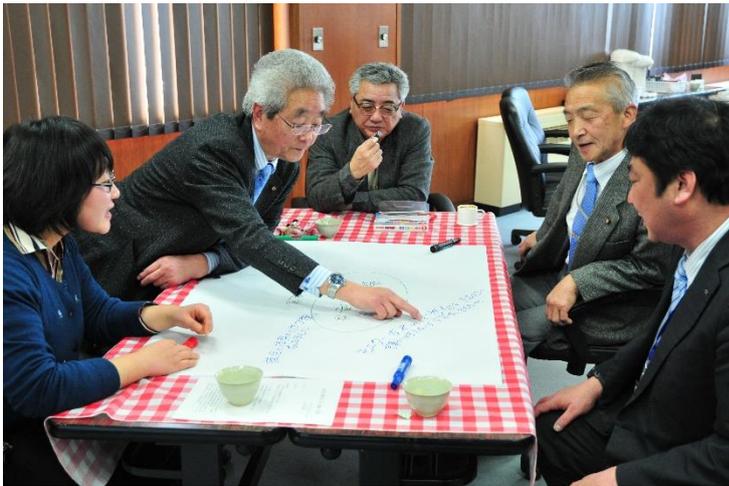


第3回議会モニター会議での感想、意見

平成31年1月11日(金)10時～12時

久慈市役所特別会議室



■久慈市議会の誇りに思うこと、残念に思うこと

(誇り)

- タブレットの活用、議会基本条例
- ICT活用、ペーパーレスが進んでいる
- かだってタイムズ→市民との対話
- 議員（議会）と市民の対話、交流の機会が増えた。
- インターネットで知ることができる。
- 議会改革。ランキング上位にいる。
- じえじえじえ条例
- かだってタイムズが良い。読みやすい。
- モニター会議の意見を反映している（QRコードの採用）

(残念)

- モニターの時間が取れない。若い人の参加が難しい。
- 専門用語があって分からない。解説がほしい。
- 市議会の良さが市民に知られていない。
- 個々の議員の活動が見えにくい。
- 市民にPRが足りない。対話、交流の機会を増やしてほしい。
- 住民に伝わっていない。理解されていない。若い世代、女性議員がいない。
- 興味がない。忙しい。理解しにくい。難しい。平日に時間を取るのは大変。
- 質問の先がどうなったの分からない。
- 若い人の声の届け方が分からない。
- 改革ランキング→アピールが必要
- 広報不足。他の情報不足。発信力が必要では（ラジオ等の活用）”
- 市民に関心を持たせる方法は。
- 国→県→市→政治の流れが若い人たちに感じられていない。
- 高齢化、後継者不足、女性議員不足
- 要望、意見があっても、届け方が分からない。
- 議員との距離が遠い。市民の声を届けにくい。
- 質問内容が見えない。答えの追求してほしい。

■ 議会モニターのありたい姿

- モニターになって議会に興味を持ち、議員になってほしい。【4件】
- 政策提言など、モニターと議員と一緒にやりたい。【4件】
- テーマを設けて議員とモニターが意見を交換する。【2件】
- 議場外（各地）で出張議会（話し合いの場）があればいい。【2件】
- 年代や団体、分野別などの意見交換会やモニター会議を地域で開催。雑談の中からも意見を聞く。【2件】
- たくさんの人たちの前で、市長、議員、市民の立場でいろいろな議題について意見交換する場があればいい。
- 市民意見を吸い上げる場を工夫し、その意見を代弁等してほしい。
- 市民投票など、市民が議場で発言。参加型の取り組み。
- 問題点を感じても、行政や議会に届けられない。市民が意見を言える環境を作りたい。
- 議会の解説をモニターと議員と一緒にやってみる。
- 議会、議員の発言を分かりやすくする。【2件】
- モニターがパイプ役になって、市民に議会のことを知らせる。【4件】
- モニターの経験者を増やしていく。
- 手探りでもいろいろやってみる。

■ モニターと議員が一緒に取り組みたいこと ①

- ありたい姿…議会を通じて、市民が市政や生活を良くすることに興味を持つ。現段階では、モニターを増やすために世代ごとや興味のある分野ごとにモニターを募って話をする機会を作るために、今のモニターは協力する。議員は専門知識や得意な分野を持っていく。
- もっと多くのモニターを集めること。議会を分かりやすくすること。議員ともう少し話をする時間を作ってほしい。議会に対する議員の考え方を聞かせてほしい。
- モニター会議の回数を増やす。またはもう少し深く議論や意見交換する機会を増やす。政策提言もしくはその前段階的な部分へのモニター参加も面白いかも。
- モニター会議を今後も継続し、モニターの人数が増え、モニターがインフルエンサーとなって市議会に関心を持ってもらう働きをする。モニターが進行役、議長等を務め、議員ではなく市民主導で会議を行い、身近なものにしていく。
- 議員の発言、発表、提案（議会中を含む）を市民が分かるレベルまで下げる（解説者、説明者）。議会に興味を持ってもらうために、今の若い人が何を普段見ているのか、生活のサイクルなどをモニターや動画、コメントを使って知ること。議員と市民の距離を埋めること。（モニターを動画で配信）モニターを募集するのではなく、市民から参加したいとなるには…。モニターなどのやり方の改善
- 久慈市議会が全国的にも素晴らしい議会であることを発信していき、敷居が高いと感じている市民の声をもっと伝わりやすいようにする。市民全員がモニターになるくらい活発な久慈市に。
- 議会と市民の垣根を取り払い、より「声が届く、声を発する」場をモニターとして持っていく（場を作る）→モニター主体で「出張議会」を開催し、市民の集う場で討議をし、参加型の議会を確立させたい。

■ モニターと議員が一緒に取り組みたいこと ②

- テーマを設けて意見交換したい。(地域の課題、市の課題、市民から寄せられた問題・課題、その他)
- 情報の共有…議員へのタブレット情報をモニターにも。政策提言へのモニター参加
- 市民の声を吸い上げる。議員には届けにくい市民感覚の身近な声をモニターが仲介役となって聞き取る。市役所に届けきれない声を吸い上げる。モニターと議員の合同研修会など、将来のなり手育成。
- 距離を縮めるため、レクレーションを。議会モニター会議の回数を多くする。(ワールドカフェ方式)モニター会議の現場に出向く。議会モニターの発表会を開く。
- 議員とモニターの会議を広く市民に伝える。モニターになって議会のことをいろいろ知ってきたので、裾野を広げていくことが市民も多く参加できる状況を作ることも大切。モニターの発表する機会を作る。政策提言する時、モニターも参加する。
- 世代別モニター制度。政策提言サイクルにモニター意見を求める。議会報告会にモニターにも参加してもらおう。モニターをきっかけとし、議会、議員に興味が出て議員として活動してほしい。キャリア教育として位置付けたい。
- 議員とモニターが一緒になってテーマを決めて話し合ったり、研究したい。テーマによっては、モニターが関係する人を連れてきて、その人たちで話し合いたい。そのモニター会議の様子を中継して、多くの人に久慈市議会、議員のやっていることを知ってもらい、興味を持ってもらいたい。
- 議会で取り組んでいる政策形成をモニターと情報共有しながら進めたらどうか。本会議や話題の質問を市民に知らせ、多くの人に観ていただく。議会の運営など、市民が分かりやすいような解説してもらいたい。気軽に市政などに関する意見が言える場があればいいのでは。
- 現在のモニター数を増やせるような手法を。年代と性別だけではなく、業種別のモニターもほしい。議会中継を解説するモニターがいれば、5Gを使用、ICT化も進む。

■モニターから出された意見

- 議会を解説する人がいてもいいのでは。内容が分かれば聞いてみようと思う。
- ランキング 72 位→評価の基準は？
- モニターになって、各議員が尽力されていること、市民に情報をいかに発信していくか考えられていることを知ることができた。
- 常任委員会などの日程をオープン（周知？）にする。
- モニターの構成。年代別や立場等、幅広く募集すべき。
- モニターがネットで参加できるようにする。言葉で言えないが、文字なら言えるかも。
- 市、議会の窓口を広げることが大切。縦割り行政の課題。議会で悩み相談室を立ち上げる。
- 議会との距離が遠く、問題や要望を議員や行政に伝えることが難しい。声では伝えやすいが文書は難しい。
- 地域ごとに見れる環境を作ればいい。（テレビなどの）モニターがあれば、公民館でみんなで見るとか。かだって会議を中継するとか。
- 議会モニター会議を中継してはどうか。普通に話している様子が見られれば、ハードルが下がる。
- 今まで、あまり関心を持つことのなかった市民をどう巻き込んでいくかが、今後、久慈市を良くしていくことにもつながると思う。
- 若者の参加も欠かせない。学生時代から議場見学、議会傍聴（録画を授業に活用など）、職場体験実習の選択肢として議員体験など、保護者も含めながら議員に関心を持ってもらう活動が活発にあってもよい。
- 傍聴する時に、開始だけでなく終了や休憩の時間の目安と、登壇する予定人数（午前〇人、午後〇人のような）が分かると、関心のある時だけでも気軽に傍聴しやすいと思う。
- もっと深く関わりたい。せっかく議員と話せる機会。子育ての話もしたい。市民の質問や疑問を話せる機会を作れないか。